

## 企業等による地方創生 SDGs 調査・研究会(第 4 回)の開催結果について (概要)

○日時:令和 7 年 9 月 29 日 10:30-14:30

○場所:ハイブリッド(内閣府・オンライン)

○出席委員:竹ヶ原座長、大塩委員、関委員、菌田委員、月田委員、平松委員、堀田委員、  
横山委員、長谷川委員、蟹江委員、宮垣委員

○議事総括:

### ① 企業等による地方創生 SDGs 取組事例ヒアリング

- ・ 各団体より、取組事例についての説明があった
- ・ 委員からの質問や意見は次のとおり

### ユニミクスの事例

- 他の地域に横展開することは可能か、また、横展開する時のポイントはどこにあるとお考えか。
- ウニの畜養拠点を作る際に多額の資金がかかると想定されるが、どの様に対応しておられるか
- ブルークレジットの規模は今後大きくなると思うが、ブルークレジットによる資金は漁業者や本社どちらに帰属しておられるか
- 本取組に対する引き合いはどのようなルートで来ることが一般的でしょうか。

### カーリーファンドの事例

- 県外の出資者はどのように集められたのか。今後、県外から広く募集する場合の広報戦略はどう考えておられるか。また、投資先のパフォーマンス状況はどうか、お差支えない範囲でご教示いただきたい。
- 沖縄 SDGs パートナーや沖縄県のプラットフォームとはどのように連携されておられるか
- 沖縄は歴史・文化的背景を含めて大きなポテンシャルを持つと感じる。他地域との違いや沖縄ならではの強みは何とお考えか。
- ファンドを形成する際に一番苦労した点は何か。また、その課題は沖縄だからこその課題であるのか、ファンドとしての課題であるのか、どちらと感じておられるか。

### SAGA COLLECTIVE の事例

- 協同組合が推進役になっておられるとの印象を受けた。行政や大学との関わりも記載されていたが、実際にはどのような形で官・民・金などと連携されているのか

- 海外展開について、ヨーロッパは脱炭素やサステナビリティに敏感であるため、有効な取組だと感じているが、どのような戦略を考えておられるか
- 実質的な CO<sub>2</sub>排出削減のロードマップは作成されておられるか。また、CO<sub>2</sub>以外のサステナビリティ課題(サプライチェーン、人権、女性活躍など)への対応に取り組まれておられるか
- 多くの企業から成る協同組合であるが、意思決定はどの様に行っておられるか。企業や職人というそれぞれの立場から意見が分かれるような場合、どのように調整されておられるか

#### 豊岡スマートコミュニティ(以下、TSC)の事例

- TSC の実務を担っているのは行政、民間どちらでおられるか。また、行政組織と TSC の各取組について、どのように調整されておられるか
- TSC の連携体制はどの様に行っておられるか
- TSC の取組に外国人居住者や観光客への対応は含まれておられるか
- 継続性について、首長の改選や職員の異動などで連携が崩れることなどはないでしょうか

#### 但馬を結んで育つ会の事例

- 本事例は横展開可能な取組とお考えか。また、なぜ具体的な取組としてワークできたのか、ポイントとお考えの部分があれば、ご教示いただきたい。
- 今回の取り組みは医師や看護師などプロフェッショナルが起点になっておられるが、忙しい医師がこうした社会課題に声を上げるインセンティブはどこにあったとお考えか。
- 地域の医療を考える上で、救急隊を巻き込むことが大事だと思うが、救急隊はどのように関わっておられるか。

#### うらほろ樂舎の事例

- うらほろスタイルが確立した背景として、人の力以外の要因(風土や歴史)はあるとお考えか。
- 節目ごとにキーとなる人物や、強い思いを持って活動されてきた方がいたのではないかと思います。教育から雇用創出、NPO 化など、取り組みの幅が広がる中で、橋渡し役となった人物はどなたとお考えか。
- 非常に幅広く事業に取り組まれている印象を受けるが、それぞれの事業の役割や、特に重点を置くべき事業はどれとお考えか。

以上